

熱海市は、将来都市像に「住むひとが誇りを訪れるひとに感動を誰もが輝く楽園都市 熱海」を掲げ、「住んでみたい」「訪れてみたい」、そしてそんな街に「投資をしたい」という「選択される街」を目指して、シティプロモーション活動に取り組んでいます。

『熱海NEWS LETTER』は、その活動の一環として、熱海の旬な情報をお伝えするために、定期的に発行しています。

右の写真は、P3でご紹介している熱海海上花火大会



LINE UP

ラインナップ

S 【特集1】日本最大級の新ビーチアトラクションがOPEN・・・P2

今年の熱海サンビーチは何かが違う。海上に日本最大級の浮遊アスレチックを設置。水着でシーソー、トランポリン、滑り台などが楽しめます。

【特集2】話題の小説でも書かれている熱海の花火大会・・・P3

お笑い芸人“ピース”又吉直樹さんの小説『火花』の舞台にもなった熱海の花火をご紹介します

E 【イベント】7月・8月の主なイベントをご紹介します・・・P4

- ◇MOA美術館夏休み特別展「ふしぎな万華鏡ワールド」
- ◇夏の夜は潮風に吹かれて乾杯「あたまビール祭り」
- ◇来宮神社例大祭「熱海こがし祭り山車コンクール」

A 【熱海のココスキ!!】海上から見る熱海の風景は格別・・・P5

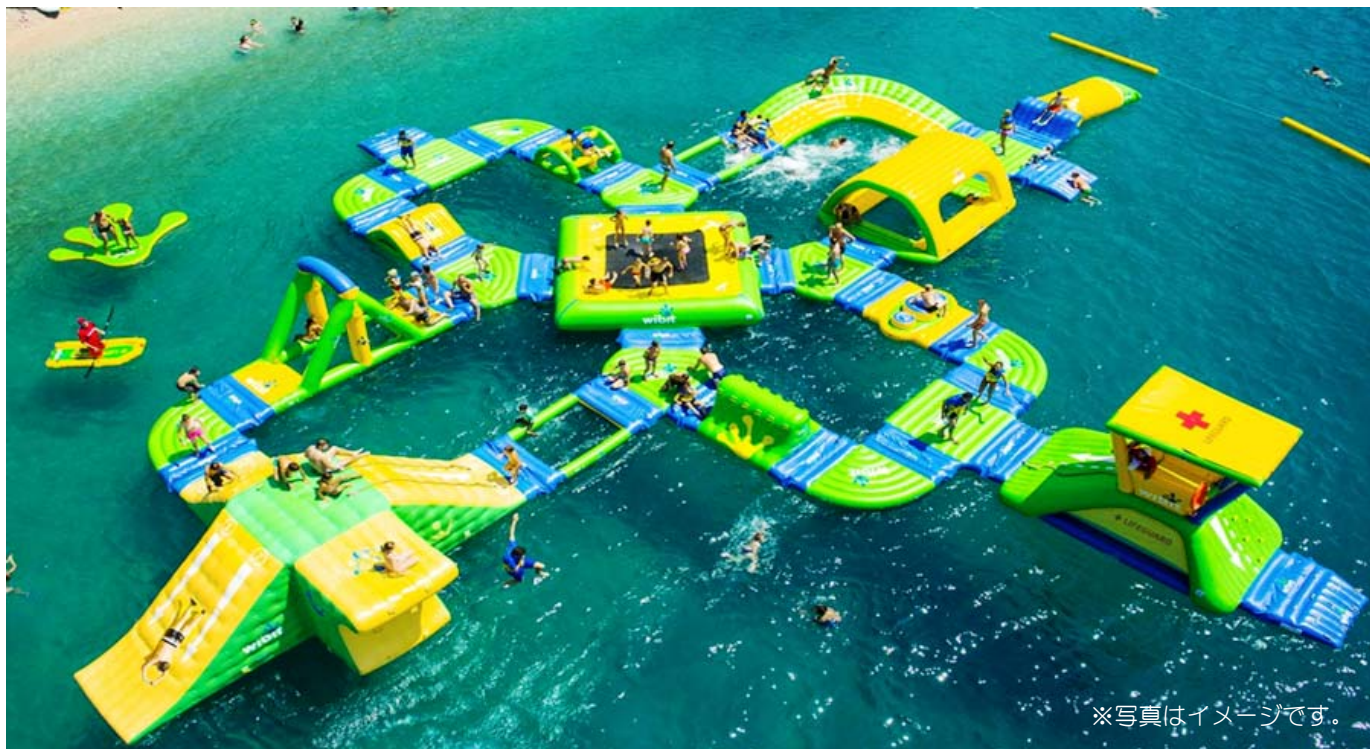
海の安全安心を守る伊豆小型船安全協会の西海さんに、船の上から見る熱海のココスきな風景について伺いました。



熱海の夏といえば、もちろんビーチ。ビーチと言えば海水浴を想像する人も多いはず。でも、今年の熱海サンビーチはいつもの海水浴場と違います。それは、海上に設置される日本最大級のビーチアトラクション。

今回の特集では、このビーチアトラクション、『ウォーターパーク』をご紹介します。

巨大フロートが非日常感を演出



※写真はイメージです。

熱海サンビーチは、防潮堤に囲まれた穏やかなビーチで、老若男女を問わずに愛されてきました。

この穏やかなビーチの特性を生かし、今年初めて熱海サンビーチの海上に巨大な浮遊アスレチックを設置します。これが「ウォーターパーク」です。リゾート感あふれるフロートが非日常的な空間を演出し、家族連れからカップルまで満足のいくアクティビティとなるはずです。

国内最大級の浮遊アスレチック

「ウォーターパーク」は、熱海サンビーチの沖合い約20mに強化ゴム製浮遊アスレチック(30m×37m)を設置し、水着でシーソーやトランポリン、滑り台、クライミングなどを楽しむ遊具です。

また、ライフジャケットの着用義務や常時監視体制などの安全面にも配慮していますので、小学生以上のお子さんから大人まで幅広い年齢層にお楽しみいただけます。

利用期間:平成27年7月12日(日)～8月30日(日)

対象年齢:小学生以上

(小学校3年生以下は保護者同伴)

利用時間:午前9時から午後5時までの1時間単位

利用料金:1回1時間あたり高校生以上 1,500 円、

中学生以下 1,000 円

利用人数:1回につき50人

<お問合せ>熱海市公園緑地室 TEL0557-86-6218



※写真はイメージです。

お笑いコンビ“ピース”の又吉直樹さんが執筆された小説『火花』(文芸春秋)の冒頭、熱海の花火大会が舞台になっているのをご存知ですか。売れない芸人である主人公の僕が、熱海の花火大会の営業の後に神谷と出会い、師弟関係を結ぶというものです。花火の音が山々に反響する熱海ならではの描写は、熱海海上花火大会をご覧になったことがある人は、情景が甦ってくること請け合いです。熱海海上花火大会未経験の人は、ぜひこの機会に『火花』で書かれている熱海の花火を体感してください。

また、又吉さんは小説家の「太宰治」好きでも知られているところですが、実はこの太宰治も熱海に縁のある人物なのです。太宰治は昭和23年3月に熱海の旅館起雲閣の別館(熱海市林ガ丘町:現存せず)で人間失格の第二の手記までを書き上げました。執筆中には起雲閣の本館(熱海市昭和町:熱海市指定有形文化財・見学可)に宿泊したこともあります。花火観賞の前に太宰が宿泊した部屋、起雲閣の大鳳(たいほう)を訪ねてみるのも楽しいひとときです。



太宰治が宿泊した部屋 起雲閣「大鳳」

熱海海上花火大会

熱海海上花火大会は、昭和27年に第1回が開催され、今年で64回目を迎えます。打ち上げ場所は、市街地からほど近く、海上をステージに三方を山に囲まれているので劇場型になっており、光だけでなくお腹に響く花火の音も迫力満点です。

開催日:平成27年7月26日(日)、30日(木)
8月5日(水)、7日(金)、17日(月)、
23日(日)、28日(金)
時間:いずれの日も20:20~20:50
場所:熱海湾



熱海海上花火大会

まだまだある。夏の花火大会。

熱海市内で開催される夏の花火大会は、上記で紹介した熱海湾で開催される熱海海上花火大会以外にも、市内各地で開催されています。県内唯一の有人離島で開催される初島花火大会をはじめ、手筒花火が間近で見られる伊豆湯河原温泉花火大会、頭上に迫ってくるような伊豆山・伊豆多賀・網代の花火大会など、特色のある花火ばかりです。

- 初島花火大会 7月20日(月祝)
- 伊豆湯河原温泉花火大会 7月25日(土)
- 伊豆山花火大会 8月3日(月)・25日(火)・26日(水)
- 伊豆多賀花火大会 8月12日(水)
- 網代温泉花火大会 8月16日(日)

<お問合せ>熱海市観光協会 TEL0557-85-2222



伊豆湯河原温泉花火大会

見

MOA美術館 夏休み特別展
「ふしぎな万華鏡ワールド」

7月24日(金)～9月9日(水)



「ふしぎな万華鏡ワールド」では、世界最大級の万華鏡フェスティバルにおいて、日本人として初めて2年連続グランプリを獲得した依田満・百合子の万華鏡作品約20点をご紹介します。展示室全体に万華鏡の世界が広がる作品など、同じ模様が二度と現れない万華鏡の美しい世界をご家族でお楽しみください。※MOA美術館入館料有料

◆お問合せ MOA美術館 TEL 0557-84-2511

遊

熱海のビーチに夏到来!!
熱海海水浴場海開き

7月11日(土)～8月30日(日)

市街地にある「熱海サンビーチ」、駐車場からフラットでいける「長浜海水浴場」、網代漁港にほど近い「網代温泉海水浴場」の市内3カ所で海水浴場が開設されます。



◆お問合せ 熱海市公園緑地室 TEL 0557-86-6218

食

夏の夜は潮風に吹かれて乾杯
「あたまビール祭り」

8月1日(土)～4日(火)
15:00～21:00



真夏の暑くてたまらないこの季節。熱海では、「あたまビール祭り」がビーチに隣接した渚親水公園で開催されます。会場では、ビールや食べ物の販売はもちろんのこと、フラダンスなどの軽快なステージイベントが繰り広げられます。あなたも潮風に吹かれながらの「乾杯」はいかがですか。

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

見

来宮神社例大祭
熱海こがし祭り山車コンクール

7月15日(水)・16日(木) 18:30～



パワースポットとして名高い来宮神社の例大祭の一環。国道135号を交通規制し、30数基の山車が集結するため、市街地は祭り一色に染められます。

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

見

漁師町網代で江戸時代から続く
「阿治古神社例大祭」

7月19日(日)～21日(火)



江戸時代から港町として栄えた網代で繰り広げられる夏祭り。豊漁と無病息災を願い、御神船「両宮丸」を勇ましい男たちが引き回す光景は圧巻です。

◆お問合せ 網代温泉観光協会 TEL 0557-68-0136

まだまだ、ある。イベントカレンダー

7月

- 11日 南熱海ケイキフラフェスティバル
(長浜海浜公園)
- 19日 マリンフェスタ・アタミ2015 (渚親水公園)
- 25日 伊豆湯河原温泉サンバカーニバル&花火大会
(泉公園)

8月

- 1・2日 MOA美術館新能 (MOA美術館)
- 14・15日 網代温泉ふるさと祭り (大縄公園)
- 16日 百八体流灯祭 (多賀湾)
- 25・26日 伊豆山温泉さざえ祭り&花火大会
(伊豆山海岸)

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

海上から見る熱海の風景は格別



にしがい たかし
西海 尊志 さん

伊豆小型船安全協会熱海支部 海上安全指導員

— 西海さんが所属されている伊豆小型船安全協会熱海支部は、どのような活動をされているのですか？

西海 私たちは海上保安庁のボランティアとして、保安庁指定の安全パトロール艇で、海上で危険な行為や変わった様子はないか週末を中心にパトロールをしています。

熱海海上花火大会の際にも海上警戒を実施しないと、花火打ち上げの許可が下りませんのでパトロールを行っています。

— 海水浴や花火大会など、市民や観光客の皆さんが楽しまれている場面でのボランティア活動は大変ではないですか？

西海 自分も楽しんでやっています。それだけでなくは長続きしません。週末の海上パトロールは、クルージングのつもりでやっているんですよ。熱海港を出港し、初島、手石島、多

賀沖を經由して戻ると約2時間半の航程です。時間があれば初島で新鮮なイカ丼をランチで食べたりもします。私たちの活動は、自分たちも楽しみながら市民や観光客の皆さんの安全を守る活動なので、若い人にも楽しみながら活動に参加していただき、裾野を広げていきたいですね。さすがに花火大会は、花火を背に向けてパトロールしているので、ほとんど花火を見たことはないですけど（笑）。

— 西海さんの“熱海のココスキ！”ということがありましたら教えてください。

西海 マリーナを出発して、船上から振り返ってみる熱海市街地の風景ですね。ホテルやマンションの近代的なビルが山の緑などの自然と調和しているのが熱海独特で大好きです。もう少し船を進めて振り返ると、真鶴半島から網代までパノラマのように広がります。さらに初島まで船を進めて振り返ると、天気によければ十国峠の上に富士山がぼっかり浮かんでいるのも見えます。これらの風景は海上ならではの風景だと思います。

— 今日は乗船させていただきながら取材していますが、西海さんお気に入りの海上からの風景を皆さんに楽しんでいただける方法があったら教えてください。



西海 熱海港から出港している初島行きの船からもこの熱海市街地の絶景はお楽しみいただけます。もう一つオススメなのは、ヨットが並び異国情緒があるスパ・マリーナから出船する「遊覧船サンレモ」です。遊覧船でゆっくりと見る熱海市街地も格別ですし、錦ヶ浦のそそり立った風景もまさにミニジオパークです。

私は小学生の時に海水浴を皮切りに、数々のマリンレジャーの虜になり、今の活動につながっています。ぜひ、皆さんにも、子どもの頃から海に触れていただく機会をもっていただきたいですね。